

6月は「土砂災害防止月間」です！

昨年は全国で過去10年間で最も多い1,514件のがけ崩れや土石流などによる土砂災害等の被害が発生し、多数の生命・財産が失われました。国土交通省と各都道府県では、昭和57年7月に発生した長崎豪雨災害をきっかけに、梅雨の時期となる6月を「土砂災害防止月間」として定めています。

土砂災害への国民の理解と関心を深め、土砂災害に対する防災知識の普及、警戒避難体制整備の促進等の運動を強力に推進することにより、土砂災害による人命、財産等の被害防止及び軽減を目的としています。土砂災害から自分や家族の身を守るため、日頃から気象情報に注意し、安全な避難場所を確認するなど、土砂災害に備えましょう。

平成29年に発生した土砂災害発生件数

	1,514件
土石流等	313件
地すべり	173件
崖崩れ	1028件

【被害状況】

○人的被害

死者22名、行方不明者2名、負傷者8名

○人家被害

全壊219戸、半壊195戸、一部損壊287戸

「国土交通省ホームページより」



土砂崩れにより
民家4軒が被災
大分県中津市
(H30.4月)

「国土交通省ホーム
ページより」

3つのポイント

1、住んでいる場所が「土砂災害警戒区域」なのか確認しましょう。

●とちぎ土砂災害警戒区域マップ

<http://www.deis.pref.tochigi.lg.jp/map/>

とちぎ地図情報公開システム⇒同意⇒お住まいの区域を検索

●マッピングぐんま 土砂災害警戒区域

<http://mapping-gunma.pref.gunma.jp/pref-gunma/Portal>

トップ⇒防災情報⇒土砂災害警戒区域等⇒同意⇒住所等から検索

2、雨が降り出したら土砂災害警戒情報に注意しましょう。

●とちぎ土砂災害警戒情報

http://www.dif.pref.tochigi.lg.jp/dosya_keikai/alert_map.asp

●ぐんま土砂災害危険度情報

<http://mapping-gunma.pref.gunma.jp/pref-gunma/Portal>

トップ⇒防災情報⇒土砂災害警戒区域等⇒同意⇒土砂災害警戒情報メッシュ⇒住所等から検索

3、土砂災害警戒情報が発表されたら、早めの準備、明るいうちに安全な場所へ避難しましょう。

住民の行動等

気象情報やハザードマップを確認



- ・心構えを一段高める
- ・土砂災害警戒区域等の危険な箇所を把握
- ・避難場所や避難ルートを確認

Point
備えは大丈夫？

最新の情報を把握して、災害に備えた早めの準備を

- ・発表中の注意報に、夜間に大雨警報発表の可能性が高いと記載されている場合は、土砂災害警戒区域等にお住まいで避難行動に支援を必要とする方は、早めの避難



Point
土砂災害警戒区域等にお住まいの方は早めの行動を！

土砂災害警戒区域等にお住まいの方は地元市町村からの避難情報に留意するとともに「土砂災害警戒判定メッシュ情報」を確認し、速やかに避難



- ・大雨警報や土砂災害警戒情報の基準への到達が予想されるメッシュでは、土砂災害警戒区域等の外の少しでも安全な場所に避難

既に重大な災害が発生しているにもかかわらず極めて危険な状況
・避難しようとしたときに屋外に出るとかえって生命に危険が及ぶと判断した場合は、少しでも命が助かる可能性が高い行動として屋内の高いところで山からできるだけ離れた部屋等で待避

- ・数十年に一度のこれまでに経験したことがないような異常事態
- ・地元市町村からすでに発令されている避難情報に直ちに従うなど適切な行動を！
- ・これより前の段階で、最大危険度のメッシュが出現するまでに避難を完了しておくことが重要

万全の体制を整えて、出水期を迎えます

1. 河川区域内の許可工作物の点検 ～目視で点検し、異常が無いか確認しました～



排水樋管ゲートの開閉確認



橋梁周辺の護岸の損傷確認



排水樋管ゲートの開閉確認



橋脚を保護する護岸の損傷確認

関東地方では、6月から10月にかけて、梅雨や台風等により川の水位が高くなりやすい期間になります。

この期間を**出水期**と呼び、大雨やそれに伴う河川の増水に注意が必要です。

出水期を迎えるにあたり、管理者立ち会いのもと、**施設の機能に支障が無い**か点検しました。

(担当 管理課)

2. 「第4回渡良瀬川大規模氾濫に関する減災対策協議会」を開催しました



渡良瀬川河川事務所管内で氾濫（はんらん）が発生した場合に、浸水が想定される地域の関係自治体等で構成する「減災対策協議会」を5月31日（木）に開催しました。

各構成機関において実施している減災に係る取り組みや、今後の予定等について、積極的な意見交換を行い、更に取り組みを強化していくことを確認しました。

(担当 調査課)

「渡良瀬川クリーン運動」を実施しました！

5月13日（日曜日）の朝8時から9時にかけて、渡良瀬川や支川沿川の63会場で一斉に「渡良瀬川クリーン運動」が行われました。

クリーン運動は、渡良瀬川沿川の地元9市町、3漁協、栃木県・群馬県の5土木事務所と渡良瀬川河川事務所で開催する「渡良瀬川クリーン運動協議会」の主催で、各自治会や沿川の学校、企業、ボランティア団体などの協力のもと、多くの皆さまの参加により実施しています。

今年の参加人数は全体で約8,400人、集められたゴミの量は、2tトラックで約49台分となりました。
【燃やせるゴミ（33台分）、燃やせないゴミ（16台分）計 98t】

ご参加いただきました地域の皆様におかれましては、早朝から大変お疲れ様でした。皆さまのこうした活動により、渡良瀬川は美しく保たれています。



渡良瀬川 中橋会場の開会式状況



ゴミ収集状況

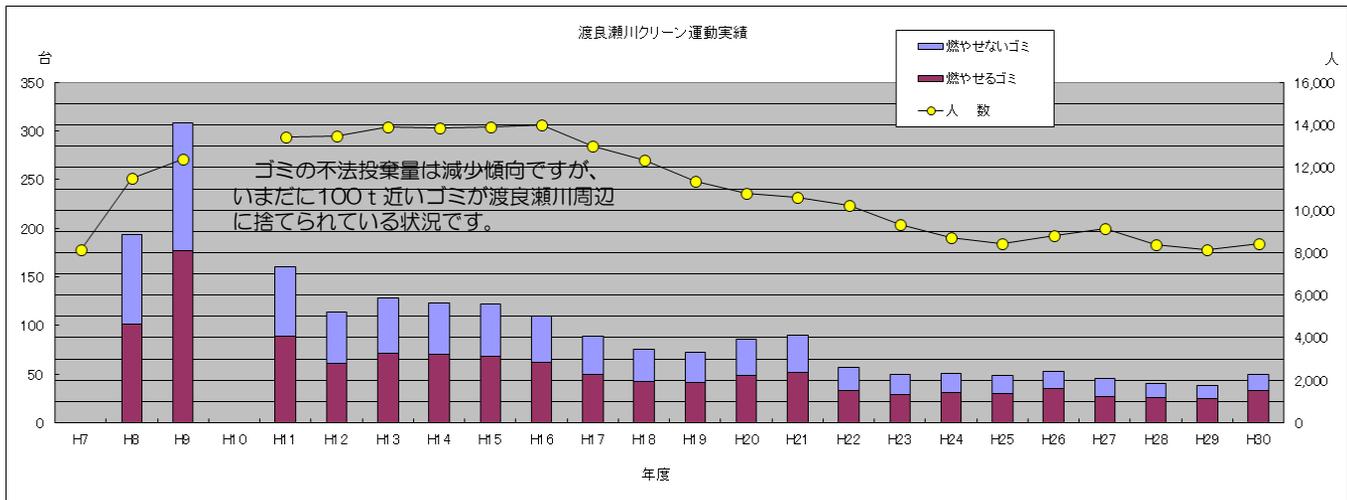


クリーン運動の実施状況

ゴミの量は減少しつつありますが、まだまだ多くのゴミが河川内に捨てられている状況です。今後とも1人1人が「ゴミを捨てない・捨てさせない」よう、環境美化にご協力をお願いいたします。

県別	実施会場	参加者	燃やせるゴミ	燃やせないゴミ	収集ゴミ量
栃木県	28会場	約4,800人	約9台	約5台	約14台
群馬県	35会場	約3,600人	約24台	約11台	約35台
合計	63会場	約8,400人	約33台	約16台	約49台

※2tトラック換算



草木ダムの貯水状況

渡良瀬川流域では、過去3年連続で取水制限を実施し、渇水となりました。今年
の状況は、春先の降水が平年並みであったことから、渡良瀬川上流の草木ダムの貯水率
は、平成30年6月1日0時現在89.9%です。

これから水田の代かき期を迎え、農業用水の取水が行われます。今後の降水状況に
よっては、ここ数年の状況と同様に渇水の恐れもあることから、限りある水資源を有
効活用するため、日常生活においても節水のご協力をお願いします。



草木ダム展望台より撮影（5月22日）

平常時最高貯水位 海拔標高454.0m

平成30年6月1日の水位
海拔標高450.89m

洪水貯留準備水位 海拔標高440.6m

最低水位 海拔標高403.7m

貯水量
4,542万 m^3

貯水率
89.9%

草木ダム

日平均放流量
9.41 m^3/s



（担当 管理課）

紙面についてのご意見や感想をお待ちしています。パソコンからは渡良瀬川河川事務所ホームページの「お問
い合わせ」から投稿していただけます。電話・FAXは下記番号へ、郵便の場合は下記住所「渡良瀬川河川事務所
地域広報官」あてでお願いします。



国土交通省関東地方整備局

渡良瀬川河川事務所

〒326-0822

栃木県足利市田中町661-3

<http://www.ktr.mlit.go.jp/watarase/>

TEL: 0284(73)5551

FAX: 0284(73)8504

川の防災情報

リアルタイムの雨量と

水位を知りたい時は

<http://i.river.go.jp>



【案内図及び連絡先】



総務課	0284(73)5551
経理課	0284(73)5552
用地課	0284(73)5553
工事課	0284(73)5554
調査課	0284(73)5558
防砂課	0284(73)5559
管調課	0284(73)5557
野河川出張所	0283(21)6810
桐生出張所	0277(44)3724
足利出張所	0284(71)2202
大間々砂防出張所	0277(72)1664
足尾砂防出張所	0288(93)2151